

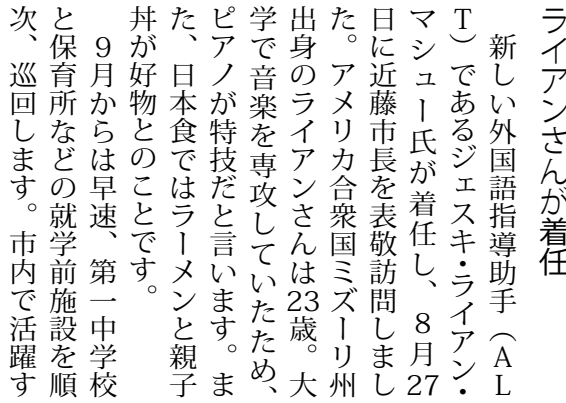


▶趣味は音楽やテニス、ゲームというライアンさん(右)。



糖度が十分の二十世紀梨  
秋の味覚の一つ二十世紀梨の初出荷日(8月23日)に、生産者の代表が近藤市長を訪問し、出来具合などを報告しました。みずみずしい梨を持って訪れたのは、JAしまねのやすぎ梨生産部会の岩田繁樹部会長。今年は春先から天候に恵まれ平年より玉太りが良く、気温が高かったため糖度が高いことなどを紹介しました。  
試食した近藤市長は「独特の風味と歯ごたえで美味しかった」と話していました。

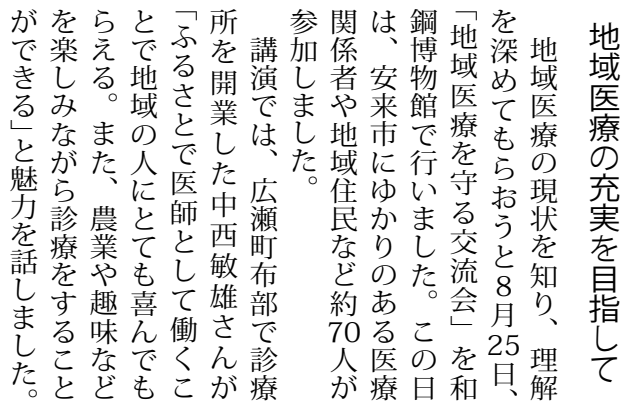
ライアンさんが着任  
新しい外国語指導助手(ALT)であるジェスキ・ライアン・マシュー氏が着任し、8月27日に近藤市長を表敬訪問しました。アメリカ合衆国ミズーリ州出身のライアンさんは23歳。大学で音楽を専攻していたため、ピアノが特技だと言います。また、日本食ではラーメンと親子丼が好物とのこと。



▶安来ライオンズクラブ川中節男会長(右)から目録が渡されました。

緑あふれる公園に  
昨年10月に部分開園した「中海ふれあい公園」に、安来ライオンズクラブから植栽用の苗木の寄贈を受けました。8月8日には関係者が市役所を訪れ、美濃副市長に目録を渡しました。  
寄贈予定の苗木はオニグルミやコナラ、クヌギなど、全て季節を感じることでできる広葉樹。育成中の苗木は来春、植栽する計画です。  
美濃副市長は「植える場所には配慮し、市民の皆さんに喜んでいただけるようにします」と話していました。

地域医療の充実を目指して  
地域医療の現状を知り、理解を深めてもらおうと8月25日、「地域医療を守る交流会」を和鋼博物館で行いました。この日は、安来市にゆかりのある医療関係者や地域住民など約70人が参加しました。  
講演では、広瀬町布部で診療所を開業した中西敏雄さんが「ふるさとで医師として働くことで地域の人にとっても喜んでもらえる。また、農業や趣味などを楽しみながら診療をすることができる」と魅力を話しました。



▶地元での開業に対する想いを話すドクター中西元気クリニックの中西院長。